

四阿山山スキー報告

【山城】長野県・四阿山（2354m）

【日程】2018年3月17日（土）快晴

【メンバー】CL菊池・古関・井上（里）・Tさん（船山）

【行程】千葉（菊池家）3：25－TさんPU－上信越道湯ノ丸SA(休憩20分)－7：45 あずまや高原ホテル駐車場 8：20－牧場－13：08 四阿山山頂－往路を滑走－駐車場－「真田の湯」－帰葉



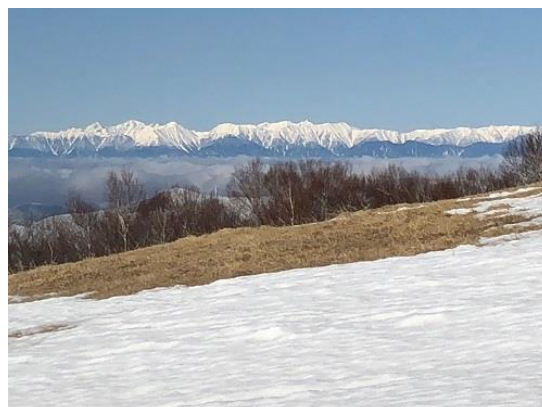
・例年のように初級向け山スキーツアーとして四阿山に行っている。今年は昨年より約2週間遅い時期に実施した。今期は上信越の山々の積雪量は多かったが、根子岳・四阿山はそれほど多くなかったようだ。上信越道からモルゲンロートの妙義山・浅間山が見え、テンションアップである。3月に入り暖かい日が多く雪解けが早く、菅平スキー場の積雪は80cm、



果たして山スキーができるだけに残雪があるだろうか、心配しながらあずまや高原ホテルに向かった。冷え込んだ朝、霧氷が美しく、車を止めしばし撮影タイムとした。



- ・ 駐車場に 7:40 頃到着、最後の駐車スペース 2 台分を何とか確保できた。さすがに時期も遅くいつもより残雪がぐっと少ない。スキーを担いでスタートしたが、すぐにシール登行可能と思いきや、雪が切れているところが数か所あり、脇の笹の出ている残雪を拾って進んだ。広い牧場に到着、雪の消えた枯草の草原部分が多い。四阿山山頂の最高気温予想は-4℃、澄んだ空気に北アルプスの峰々が白く輝いている。山スキーとしては期待できないかもしれないが、この景色が見られるだけでも満足せねばと言ひ聞かせた。



登山道ルートは選択せず、昨年と同様、右の牧場への作業道から沢筋に向かうルートに進んだ。果たして雪が繋がっているだろう



か??

案の上残雪が少なく、辛うじて雪が繋がっ

ている部分を選んで進んだ。賞味期限ギリギリのようである。白樺林の中を進むメルヘンチックなこのルートはまさに癒しの世界ですね。振り返ると北アルプスの山々も見える。平坦な牧場を抜け、傾斜のある白樺林を気持ちよくシール登行する。残雪が少なく笹が出ていところも多く、滑走しやすいラインを偵察しながらハイクアップした。予想気温は低く、雪面の固さを心配しクトーを持参したが、日当たりが良く、風も弱いため、気温上昇に従い、雪面は緩んできた。

結局最後までクトーの使用は必要なかった。



- ・ 1980m 付近で上部の広い尾根地形に移る。スタート地点は 1450m、ここまで標高差 530m、やや早いペースで登ってきたため、筋肉疲労がかなり感じられる。山頂まではまだ約 400mの標高差があるが、展望は開けているため、周囲の景観を楽しみながらのハイクアップである。休憩をとり、ゆっくりペースでとり、焦らずシール登高した。漸く山頂が近くなってきた。眼下の菅平スキー場、その向こうに北アルプスの山々が望める。根子岳からの登山道が合流する地点の近くにスキー板と荷物をデポして山頂に向かった。

厳冬期、2000m以上は風が強く視界も不良のことが多く、登頂できないことも多いが今回は、2000m付近で 10m程の風速予想であったが、時間が経過するにつれ風は弱くなっており、快晴の日差しが強いため、雪面も緩んできており、快適であった。

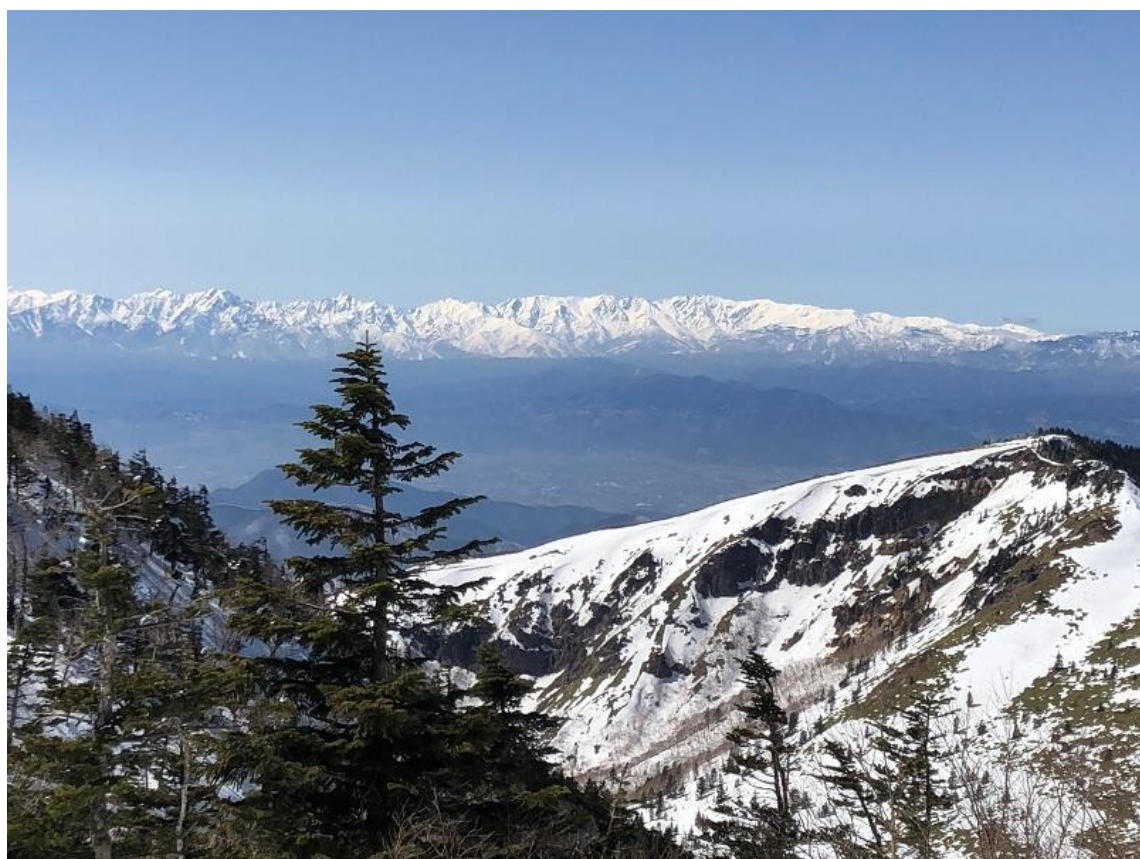


- ・ 昨年はこの写真のあたりまで登り、元気なメンバーのみ登頂したが、小生はここから引き返した。今回はまだ余裕があり、アイゼンを使用することなく、ツボ足で全員登頂できた。山スキーでの登頂は 3~4 回であるが、今回は 8 年ぶりの登頂である。満面の笑みで記念撮影できました。女性陣 2 名は山スキーで初登頂です。素晴らしいツアー日和に

恵まれた賜物です。今年から山スキーデビューのTさん、頑張りましたね！！

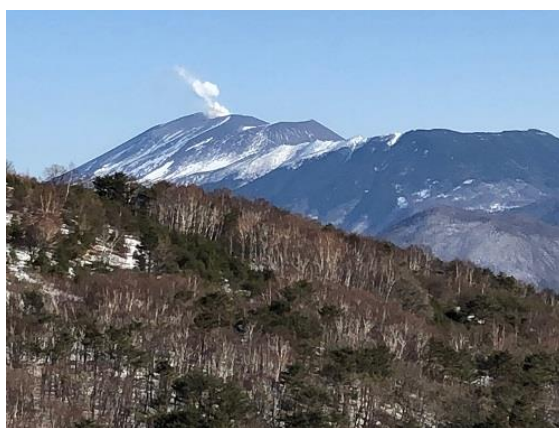


終始素晴らしい好天に恵まれた一日で、雪山の遠望をほしいままにできました。妙高・戸隠の山々です。根子岳の向こうに北アルプス・後立山連峰です。



- ・低温予想に固いバーンを心配していましたが、予想外に雪面は緩み、全ルートザラメ滑走が楽しめました。林間が煩いエリアや、笹が出ているところもありますが、柔らかい雪質のため、無難に滑走することができ、残雪が少ないにもかかわらず最高の山スキー

ツアーとなりました。



最後は浅間山の噴煙を眺めながら、フィルムクラストも味わうことができました。

今回は四阿山山頂まで4時間40分ほど要し、ややハードなロングルートですが、急斜面は殆どなく、緩斜面・中斜面が主体で初級・中級向け山スキーの素晴らしい適地であり、毎年来たくなるエリアです。

この地区に来るとよく立ち寄る「真田の湯」、500円で余韻に浸りながら汗を流し帰路につきました。

